

# カレッジ通信

編集・発行  
東京建築カレッジ

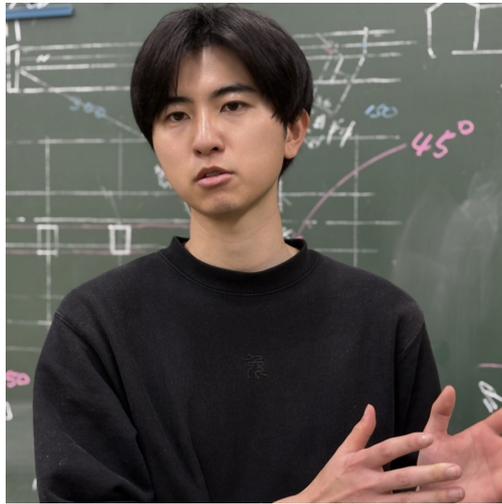
授業見学  
大歓迎!

TEL 03  
(5950)  
1771

## 建築に対する視野が大きく広がった

### 建築カレッジの2年間、今後の抱負 第28期生 佐藤 蓮之介さんに聞く

3月22日、東京建築カレッジは第28期生の修了式を池袋校舎で行いました(17人が修了、入学は23人)。10代・20代の構成比が78%、入学時点で40歳以上が0人など若さが際立つ期でした。また、あともう少しで皆勤賞の人が複数いるなど出席率の高さも特徴でした。最上位とされる「東京都職業能力開発協会会長賞」受賞の佐藤蓮之介さんに2年間の思い出、今後の決意を聞きました。



◆カレッジの2年間は、どうでしたか。

この2年間は、自分の在り方や将来を深く考える貴重な時間でした。平日は実家の工務店で実務を学びながら、金・土曜日(月1日程度、木曜

「大工実技実習だけでなく、建築の理論、設計の手法も学ぶことができた。町の工務店が生き残るにはどうしたらいいのか、考えながら通学した」と佐藤さん。

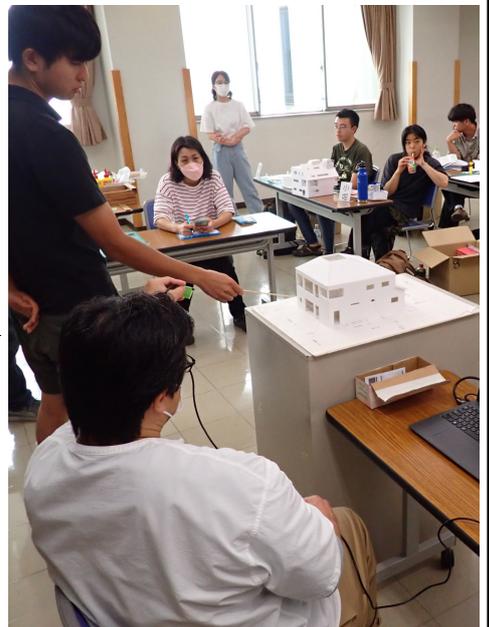
日)は東京建築カレッジで理論や設計、大工技術を学ぶという、いわば「実践と学びの往復」の日々でした。体力的には決して楽ではなかったですが、そのぶん多くの吸収ができたことで、建築に対する視野が大きく広がりました。

◆工務店の後継者としての自覚を高める2年間になりましたね。ただ、町の工務店が抱える色々な課題も見えてきたのでは。

はい。地域密着型の工務店として、これまでも多くのお客様に支えられてきました。

つまり「お客様との信頼」という力がなければ、我々という小さな会社は存続ができないと思います。

そして、少子高齢化、職人不足、住宅ニーズの多様化といった課題にどう向き合うか。これから



の時代に合わせた提案力と発信力、そして地域との新たな関係づくりがこれからの鍵になると感じています。

◆カレッジ生活で印象に残った出来事、ベスト3を挙げてください。

一番は、住宅自由設計の課題で吹き抜けを利用した住まいを提案したとき、先生から「これは想像力の素晴らしい図面だ」と言っていただけなこと(右写真)。  
二つ目は、授業や実習を通して、他の同級生と



左写真：技能照査実技試験で「化粧棒隅木」製作に奮闘中。

◆当面の目標は？  
10年後は何をしますか？

まずは、実家の工務店(株)佐藤工務店II杉並区(高井戸西)で一棟一棟をていねいに仕上げる経験

三つ目は、東京都職業能力開発協会会長賞をいただけたことです。頑張ってきたことが評価され、素直にうれしかったです。

### 町の工務店の存続 地域との新たな関係づくりで



「奈良宿泊研修」で大規模改修工事現場を見学(橿原市今井町)。リフォーム・リノベーション工事は今後ますます増えていく。古民家の魅力を生かす事例に刺激を受けた。

を積みながら、少しずつ経営の視点も学んでいきたいです。10年後には、地域の人にとって「この人」家を任せたい」と思われるような存在になりたい。そして、建築を通して地域の豊かさを支えるような活動にも取り組めていたらうれしいです。

建築は「誰かの人生に寄り添う仕事」だと思っています。形をつくるだけでなく、思いを汲み、暮らしを想像する。責任は大きいけれど、その分やりがいも深いです。迷っているなら、まずは実際に建築に触れてみてほしい。現場でも、模型でも、何でもいい。一歩踏み出すことで、きっと見えてくるものがあると思います。

## 「第3回OJT報告会」を開催・・・3月15日(土) 現場の経験、気づきを語る。質問に答える

修了式の前週、3月15日(土)、「2024年度・第3回OJT報告会」がおこなわれました(池袋校舎)。東京建築カレッジは「職場も学校」「社長や親方、職場の先輩も先生」という視点でOJT(On the Job Training)も授業科目としていますが、毎月「出勤状況簿&OJT月報」の提出を義務付ける一方、年3回、授業としてOJT報告会をおこなっています。本校は「二年間の学習目標」の中で「5、自分の考えを相手に正確に伝えることができるようになること」を掲げています。OJT報告会はその訓練の場です。分散会では2年生が運営し、提示された課題に基づいて討論を進める方法も学んでいます。



専門誌「新建築」の表紙を飾った建築現場に従事した経験を紹介した第29期生(1年生)の南貴之さん(左写真)。OJT報告会ではカレッジで共に学ぶ仲間の仕事を知ることができる。



情報系授業で習ったPowerPointを使って自分の仕事の様子を説明します。語り方のスタイルは様々。分かりにくい説明には先生やクラスメイトから質問がぶつけられます。「その実務であなたは何を学んだの?」先生方から問いかけることも。中身のあるコミュニケーションの学習の場です。

1年・2年合同の分散会では出席者全員の本音を引き出す運営や討論のまとめ方も学ぶ。過酷な労働環境にどう立ち向かうか、意見交流がおこなわれることもある。

